

〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	□□節□□項	
担当課・係名	安心安全課子ども安全推進室 係【問合せ・質問等の先（内線番号）加藤 162 番】			

業務の名称	児童の登下校時の交通安全指導に関すること						
(1) 根拠法令・条例	長久手町交通安全条例						
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>77.1</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>1617.7</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u> </u> 人・日)						
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u> </u> 千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))						
(4) 補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u> </u> % (平成19年度実績)						
(5) 業務期間	開始した年度	昭和51年度	終了(予定)年度	年度			
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)							
①業務目的(達成目標)	児童の登下校時における交通事故防止を図る。						
②業務が対象とする住民(地域、層)	学童						
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成19年度実績)	児童の登下校時に交通指導員が危険交差点等の交通危険箇所学童の誘導を行い事故防止を図る。通学時に交通安全指導を行い、学童に交通ルール、マナーを習得させる。						
④業務の実施結果 (平成19年度実績)	登下校時に交通安全業務に加え、入学説明会、入学式などの機会をとらえ、学童の保護者を巻き込んだ交通安全教育に着手した。						
	【業務結果の説明指標】						
	結果の説明指標		17年度	18年度 実績	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
	1	小学校入学説明会での交通安全指導	0回	5回	5回	6回	6回
	2	登下校時の交通安全指導	学校開 校日	学校開 校日	学校開 校日	学校開 校日	学校開 校日
	3						
4							
5							
⑤業務の成果(業務目的の達成状況) (平成19年度実績)	児童の登下校時の交通事故防止が図られた。 学童に歩行時の交通ルール、マナーを習得に努めた。						
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】						
	成果の説明指標		17年度 実績	18年度 実績	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
	1	登下校時の交通事故発生	0件	0件	0件	0件	0件
	2						
	3						
4							
5							

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

学童の登下校時の交通事故防止が図かれているが、下校後の自転車乗車中の事故の低減が必要。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

学童の登下校時の交通事故防止が図かれ良好である。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3 点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3 点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3.0 点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none">①. 前年度と同じく、そのまま継続する。2. 見直して継続（業務の拡大）3. 見直して継続（業務の縮小）4. 見直して継続（方法の改善）5. 見直して継続（他業務と統合）6. 廃止する。7. 休止する。
②評価理由	交通指導員の交通危険箇所学童の誘導及び交通安全指導は、町民に理解され継続を期待されている。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

登下校時の交通安全指導だけでなく。自転車運転中の事故防止を図るための下校後の啓発活動を実施する。